

一宮町長
馬淵 昌也

とながら、房総半島をはじめとして、千葉県全体のお力添えを頂かなくてはなりません。もちろん一宮町の皆様にも、大いに協力をお願いしたいと思います。

いずれにせよ、選手の皆様にも最高のコンディションで競技をしていただくことが至上命令です。そして、来訪される関係者・観客の皆様、お迎えする一宮町の方々、皆様がいよいよオリンピックだったね」と回顧していただけるような大会にしなければなりません。

また、オリンピックの開催を通じて、町がさらに知名度を上げ、多くの人に来訪し消費をして頂けるように、また移住の希望者の方も継続的においでいただけるように、町の魅力を高め、発信してゆく努力が必要です。

これから4年間、オリンピックで生じるかもしれない「ミニバブル」に踊らされずに、長期的な見通しで町の持続的発展の戦略を立ててゆきますので、倍旧のお力添えをお願い申し上げます。

日本時間の8月4日の朝、リオデジャネイロにおいてIOCから、2020年東京オリンピックでの追加種目について、サーフィンを含む五種目採用との発表がありました。開催地については、同時発表になりませんでした。その後、日本のオリンピック組織委員会が、サーフィンについては一宮町の釣ヶ崎海岸を予定地として挙げていたことがわかりました。

IOCの最終的な判断は12月になされるのだそうですが、サーフィン競技の予定地として一宮町の名が挙がったというのは事実ですので、大変嬉しいことです。

これまで、玉川孫一郎前町長やお隣のいすみ市の太田洋市長をはじめ、町の内外の皆様が招致の声をあげ、努力をしてこられたことが実ったものだと思います。これまでご尽力されてきた方々に、心より感謝と敬意を表したいと存じます。

しかし、オリンピックは大変大きな行事で、一宮町といすみ市だけで担いされるものではありません。当然のこ